

□ 主な内容

【創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の提案募集中！】

国土交通省では、創蓄省エネルギー化に向けた先導的な構想について、提案を募集しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000130.html

【第 6 回地域の交通環境対策推進者研修会募集開始！】

平成 28 年 10 月 26 日 (水)～28 日 (金) の 3 日間、仙台市を研修地域として実施します。意欲のある方々の参加を期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/training2016.html>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 119 回)

●「ICT による EST の推進」

【日本大学理工学部交通システム工学科教授 福田 敦】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 119 回)

●「京成バスの『3S 運動』」

【京成バス株式会社 業務部長 檜山雅紀】

3. ニュース／トピック

●平成 28 年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の提案募集の開始について【国土交通省】

●温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成 25 年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について【経済産業省、環境省】

●輸送機器の実使用時燃費改善事業費補助金(陸上輸送機器の実使用時燃費改善事業(トラック輸送のエコドライブ実証事業))の公募について【国土交通省】

●第 11 回「みどり香るまちづくり」企画コンテストの実施について【環境省】

●第 13 回エコプロダクツ大賞募集開始【エコプロダクツ大賞推進協議会】

●乗り方教室用のパネルの作製について【中国運輸局】

●平成 28 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体の募集について【愛知県】

●「阪神地域えきバスまっぷ。」の配布について【兵庫県】

●エコバスロケーションシステムの開始について【恵庭市】

●超小型電気自動車購入費補助制度について【津山市】

- 次世代モビリティの実証実験について【大船渡市】
- “ちよくる”開始から1年間の利用分析結果を公開【千代田区】
- リチウムイオン二次電池「SCiB™」を搭載したワイヤレス充電中型 EV バスの実証走行の開始について【株式会社東芝】
- 環境月間の6月より「エコドライブキャラバン2016」開始【株式会社臼田ファインモータースクール】
- 「エコドライブ選手権」の結果発表について【タイムズ24株式会社】
- バイオエタノールから発電した電気で走行する新しい燃料電池システム「e-Bio Fuel-Cell」について【日産自動車株式会社】
- 2階建てEVバスシステム実証を世界に先駆け実施【NEDO】
- 平成27年の世界における電気自動車の導入台数について【国際エネルギー機関】

4. イベント情報

- 第6回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2016/10/26-28】
- 2016夏LRTフォーラム【2016/7/2】
- 第11回日本モビリティ・マネジメント会議【2016/7/15-16】
- 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会【2016/7/28】
- 第8回土木と学校教育フォーラム【2016/8/28】
- 第23回ITS世界会議メルボルン2016【2016/10/10-14】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2016【2016/10/29,30】
- 第14回ITSシンポジウム2016【2016/11/10,11】
- エコプロ2016(第18回)【2016/12/8-10】

5. その他

- ESTパートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST普及推進委員会事務局はTwitterによる情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- エコドライブ活動コンクールへの参加者を募集しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！(締切:6月中)
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 119 回)

●「ICT による EST の推進」

【日本大学理工学部交通システム工学科教授 福田 敦】

最近、アジアの交通分野における ICT の活用には目覚ましものがあります。センシング技術の発達に伴って膨大な交通情報が収集され、この解析結果は我々の交通行動を大きく変え、交通の動的な管理を可能としています。いわゆるビックデータの活用です。以前、途上国では車両感知器などの情報インフラが整備されていないので交通情報が得られず、それが大きな課題でしたが、ICT の進展で、ハードな情報インフラの整備を飛び越えて、デジタルな交通社会が実現しつつあります。

このような ICT を活用した交通管理は、環境的に持続可能な交通の実現においてもこれまでの取り組みと異なる、新たな方向性を示しています。例えば、タイで始まった新しいタクシー会社は、位置情報や燃料消費などを常時モニタリングし、そのビックデータの解析に基づいて、各運転手に最適な地点で客待ちをさせることで、客を拾うためのいわゆる流し運転を無くし、無駄な走行を大幅に減らすことで、燃料消費量と CO₂ 排出量などの大幅な削減に繋がっています。このように、交通の情報を動的に活用することで様々な交通の無駄を減らし、インフラ整備に大きな投資をせずに環境にやさしい交通システムの実現に一步近づける可能性があります。

このような観点から、ICT を活用して交通システムを都市開発に全面的に取り入れる取り組みも始まっています。インドでは、100 のスマートシティを作ろうという国家プロジェクト「スマートシティ 100」が始まっていますが、その政策の核の一つとなっているのが ICT 技術によるスマートモビリティの実現です。ICT を取り入れて自動車の管理を適正化するだけでなく、公共交通利用を推進することで、交通渋滞や事故を無くすことを目指しています。

このような流れを見ていると、世界の都市で EST を実現する方策として、ICT を取り入れた交通システムを、これまで以上に積極的に位置づけて、政策に盛り込んでいく必要があるように思われます。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 119 回)

●「京成バスの『3S 運動』」

【京成バス株式会社 業務部長 檜山雅紀】

当社では、平成 18 年 11 月より「3S 運動」を実施しています。

3S 運動とは、従来個別に行っていた省エネや安全に関する取り組みを統合・発展させて、Smile「安心」=Safety「安全」+Saving energy「省エネ」、3 つの頭文字 S をとって「3S 運動」としてスタートさせ、接客向上のための「BMK(ベストマナー向上)推進運動」と並ぶ当社の 2 大運動として推進しています。この 3S 運動のもと、従業員に対する教育・啓発、環境対応設備の導入、地域社会との連携などあらゆる取り組みを複合することで、環境保全の取り組みを高度化し、環境的に持続可能な交通事業者であることを目指しています。

従業員向けの啓発としては、3S ポイント表彰制度を設けており、安心・安全の項目に加え、エコドライブによる燃費改善に対してもポイントを付与し、従業員の自発的な取り組みの推進と環境意識の啓発に努めています。この表彰は、安心のバスを運行すれば乗客が増え、安全が向上すれば事故賠償費・任意保険料等が減少し、省エネが推進されれば燃料費等が減少するといった 3S 運動から得られる経営的な成果を従業員に還元するとの発想から来ており、従業員のモチベーションアップに繋がっています。また、従業員教育にも力を入れており、日野自動車株式会社主催のエコドライブ研修に 200 名以上の乗務員が参加し、習得した技能を日々展開しています。社内研修としては、安全運転のポイントを様々な角度で測定できる”安全運転訓練車”を用いて、データに基づいたエコドライブ・安全運転の指導を行う安全運転訓練車研修を始めとした多数のプログラムを実施しております。

設備面での環境対策では、平成 24 年に国産第 1 号となる電気バスを導入したほか、民間事業者としては全国最多となる 60 両のハイブリッドバスの導入など、環境対応型車両を積極的に導入しているほか、太陽光発電システムを導入するなど、事業所施設の省エネにも努めています。

地域社会との連携の事例としては、千葉市等におけるパークアンドバスライド、千葉市幕張地区 BRT の導入、江戸川区との協働で駅間急行運転を行う環七シャトルバスの運行などに加えて、運転免許返納者のための優待乗車証を始めとした様々な子ども・学生・高齢者を対象とした特殊定期券等の発売、年間 30 回以上の交通安全教室の開催など、公共交通の利用を促進する各種の取り組みを実施しています。

これらの取り組みの結果として、3S 運動のスタート以降の 8 年間で、運行に係る部分だけ 8 %の燃費改善を実現し、年間約 3,500t の CO₂ を削減しました。

私たちは、今後も環境に優しく質の高い公共交通サービスの提供を継続し、社会に貢献していく所存です。

3. ニュース／トピック

●平成 28 年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の提案募集の開始について【国土交通省】

国土交通省では、低炭素社会の実現に向けて、地方公共団体、民間事業者等によるまち・住まい・交通の一体的な創蓄省エネルギー化に向けた先導的な構想について、提案募集を開始します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000130.html

●温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成 25 年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について【経済産業省、環境省】

経済産業省及び環境省は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度により事業者から報告のあった平成 25 年度の温室効果ガス排出量を集計し、取りまとめました。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/06/20160613001/20160613001.html>

<http://www.env.go.jp/press/102664.html>

●輸送機器の実使用時燃費改善事業費補助金（陸上輸送機器の実使用時燃費改善事業（トラック輸送のエコドライブ実証事業））の公募について【国土交通省】

国土交通省は、経済産業省資源エネルギー庁との連携により実施する「輸送機器の実使用時燃費改善事業費補助金（陸上輸送機器の実使用時燃費改善事業（トラック輸送のエコドライブ実証事業））」の公募を開始し、EMS 機器（エコドライブ管理システム）や新型シャーシの導入経費の一部を補助します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000102.html

●第 11 回「みどり香るまちづくり」企画コンテストの実施について【環境省】

環境省では、住みよいかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援するため、かおりの樹木・草花を用いた「みどり香るまちづくり」企画コンテストを実施します。優秀な企画に対しては、その企画内容に応じたかおりの樹木・宿根草等草花の苗木・苗を提供し、まちづくりを支援します。

<http://www.env.go.jp/press/102603.html>

●乗り方教室用のパネルの作製について【中国運輸局】

中国運輸局では、平成 28 年度のキーワードを「公共交通利用促進」と定め、様々な取組を行うこととしています。その第 1 弾として、子どもたち向けの「乗り方教室」や「環境学習」等の出前講座に重点的に取り組むこととし、幼稚園・保育園や小学校で実施する際に使うためのパネル 6 枚を作製しました。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/160614001.html>

●第 13 回エコプロダクツ大賞募集開始【エコプロダクツ大賞推進協議会】

エコプロダクツ大賞推進協議会は、環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービス(エコプロダクツ)を表彰する「第 13 回エコプロダクツ大賞」を実施します。本表彰は、すぐれたエコプロダクツを表彰することを通じて、エコプロダクツの供給者である企業等の取り組みを支援し、わが国におけるエコプロダクツの開発・普及の促進を図るとともに、エコプロダクツに関する正確な情報を需要者サイド(事業者、消費者等)に広く伝えることを目的にしています。

http://www.gef.or.jp/ecoproducts/13th_bosyu.htm

●平成 28 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体の募集について【愛知県】

愛知県では、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」を中心に、「エコモビ」の普及啓発をはじめとした様々な取組を行っています。取組の一環として、協議会では、「エコモビ」推進のための取組や「エコモビ」活動を積極的かつ効果的に行っている団体を表彰する「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体を募集しています。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/280531ecomobi.html>

●「阪神地域えきバスまっぷ。」の配布について【兵庫県】

兵庫県では、利用しやすく安心感のあるユニバーサルな交通システムを作り、自動車からの利用転換を促す施策を検討・実施していくため、地域の NPO、行政、事業者等からなる協議会「阪神都市圏公共交通利用促進会議」がバス利用者に必要な情報を掲載した「阪神地域えきバスまっぷ。」を企画・作成し、この度 10 訂版を発行しました。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/hn04/hn04_1_000000192.html

●エコバスロケーションシステムの開始について【恵庭市】

恵庭市では、平成 28 年 6 月 1 日よりエコバスロケーションシステムを開始しました。バスロケーションシステムとは、バスの現在位置をスマートフォンで確認することができるシステムです。また、路線バスの目的地検索システム「もくいく」も利用できます。

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1464328240533/index.html>

●超小型電気自動車購入費補助制度について【津山市】

津山市では、市内で排出される温室効果ガスを削減することにより、地球温暖化対策の推進を図るため、今年度から超小型電気自動車購入費補助制度を実施します。

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/life/index2.php?id=5400>

●次世代モビリティの実証実験について【大船渡市】

大船渡市は、地域住民や観光客等の近距離移動に係る持続可能な交通システムを確立するため、東京大学大学院新領域創成科学研究科鎌田研究室及び株式会社キャッセン大船渡との間で、次世代モビリティを使用した実証実験を共同で行う旨の覚書を締結しました。

<http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1465444968444/index.html>

●“ちよくる”開始から1年間の利用分析結果を公開【千代田区】

千代田区は、平成26年10月から開始したコミュニティサイクル事業実証実験「ちよくる」の利用分析データや利用者意向アンケートの結果を分析し、区ホームページで公開しました。実証実験の全体評価で、「満足」と「やや満足」の合計は、利用者全体の84.6%を占めています。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kuse/koho/pressrelease/h28/h2806/h280607.html>

●リチウムイオン二次電池「SCiB™」を搭載したワイヤレス充電中型EVバスの実証走行の開始について【株式会社東芝】

株式会社東芝は、ケーブルを使用しなくても充電が可能なワイヤレス充電システムを開発し、長寿命、高出力なリチウムイオン二次電池「SCiB™」を搭載した中型EVバスの実証走行を6月1日から開始します。実証走行を通じて、ワイヤレス充電の利便性やCO₂削減効果の検証などを行います。

http://www.toshiba.co.jp/about/press/2016_05/pr_j3101.htm?uid=20160531-4376#PRESS

●環境月間の6月より「エコドライブキャラバン2016」開始【株式会社臼田ファインモータースクール】

自動車教習所ファインモータースクールは、6月の環境月間を皮切りに各地で行われるイベントで、エコドライブ啓発活動を実施する「ファインモータースクールのエコドライブキャラバン2016(以下エコキャラバン)」を実施します。エコキャラバンを通じて、子どもの頃からエコドライブに親しんでもらうと同時に、ひとりでも多くの方にエコドライブの必要性や実践方法を伝え、エコドライブのさらなる普及を目指します。

<http://www.fine-motorschool.co.jp/wp-content/uploads/2016/06/ec9492c877a516115045b86bb185e5cb1.pdf>

●「エコドライブ選手権」の結果発表について【タイムズ 24 株式会社】

タイムズ24株式会社は、カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」で実施した「エコドライブ選手権」の結果を発表しました。この選手権は、会員が期間中に急加速・急減速をしない「エコドライブ判定」された走行距離の総計を競うもので、11,988 名の方が参加しました。

<http://www.times24.co.jp/news/2016/06/20160615-1.html>

● バイオエタノールから発電した電気で走行する 新しい燃料電池システム「e-Bio Fuel-Cell」について【日産自動車株式会社】

日産自動車株式会社は、バイオエタノールから発電した電気で走行する新しい燃料電池システム「e-Bio Fuel-Cell」の技術を発表しました。「e-Bio Fuel-Cell」は、エタノールの他にも天然ガス等の多様な燃料と酸素との反応を利用して高効率に発電する固体酸化物形燃料電池 (SOFC) を発電装置としたシステムで、今回が自動車の動力源として世界で初めて車両に搭載する試みとなります。

<https://newsroom.nissan-global.com/releases/160614-01-j?lang=ja-JP>

● 2 階建て EV バスシステム実証を世界に先駆け実施【NEDO】

NEDO は、マレーシアのプトラジャヤ市において、重量の制約上これまで EV 化は困難とされていた大型の 2 階建て (ダブルデッカー) EV バスシステムの実証を世界に先駆けて実施します。今回の実証は、平成 27 年度から実施している同市との EV バスシステム実証事業の中で新たに開始するもので、同市の都市交通システムの効率向上によるスマート化を図るとともに、都市交通パッケージ事業の広域展開を目指します。

http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100581.html

● 平成 27 年の世界における電気自動車の導入台数について【国際エネルギー機関】

国際エネルギー機関は、世界の電気自動車の現状に関する最新の報告書 (Global EV Outlook 2016) で、平成 27 年に世界の EV 導入数が 100 万台を超えたことを公表しました。EV の世界でのシェアはわずか 0.1% ですが、ノルウェーやオランダなど 7 か国では 1% を超え、中国では登録台数が 3 倍に増加しました。

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=37064&oversea=1>

4. イベント情報

● 第6回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2016年10月26日(水)~28日(金)

場所:仙都会館 8階 会議室など

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2016.html>

● 2016 夏 LRT フォーラム

日時:7月2日(土)13:30~16:30

場所:波止場会館 5階多目的ホール

主催:NPO 法人横浜にLRTを走らせる会

<http://lrt.cocolog-nifty.com/yokohama/2016/06/2016-7740.html>

● 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会

日時:7月28日(木)13:30~16:00

場所:TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター4階「カンファレンスルーム 4A」

主催:エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_16.7.28.pdf

● 第11回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2016年7月15日(金)、16日(土)

場所:松山市立子規記念博物館(道後温泉)

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

● 第8回土木と学校教育フォーラム

日時:2016年8月28日(日)9:00~17:00

場所:土木学会(講堂、A,B 会議室)

主催:土木学会

共催:エコモ財団

<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/38>

●第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016

日時:2016 年 10 月 10 日(月)~14 日(金)

場所:The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC)

主催:メルボルン世界会議組織委員会

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/melbourne_2016/

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016

日時:2016 年 10 月 29 日(土)、30 日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第 14 回 ITS シンポジウム 2016

日時:2016 年 11 月 10 日(木)、11 日(金)

場所:北海道大学 クラーク会館

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、北海道大学

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/

●エコプロ 2016(第 18 回)

日時:(1 日目)2016 年 12 月 8 日(木)10:00~18:00

(2 日目)2016 年 12 月 9 日(金)10:00~18:00

(3 日目)2016 年 12 月 10 日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/>

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- エコドライブ活動コンクールへの参加者を募集しています！

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！（締切:6月中）

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当:熊井)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>